

## (2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（  は上方に変更、  は下方に変更）。

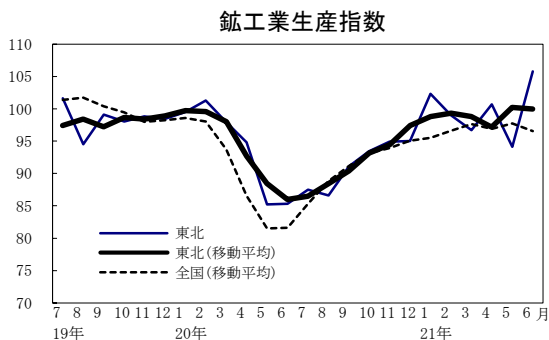
### 前回からの主要変更点

	前回（令和3年6月）	今回（令和3年8月）	
個人消費	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	→
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している	↑

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

4－6月期の鉱工業生産は、化学・石油製品はポリフェニレンサルファイド等が増加したこと、電気機械は開閉制御装置等が増加したこと等により、前期比0.9%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1－3 月期	4－6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	15.3	21.1	▲5.3	▲10.8	4.5	4.8
食料品	11.0	0.3	2.3	3.9	1.6	▲1.0
化学・石油製品	9.1	▲22.9	7.6	9.6	7.0	30.7
輸送機械	7.9	▲1.4	▲8.6	2.1	▲18.4	▲1.6
生産用機械	6.7	28.6	0.0	▲4.0	▲12.7	67.3
鉱工業	100.0	5.2	0.9	4.1	▲6.6	12.4

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。  
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。  
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 4－6月期、6月は速報値。

## 2. 個人消費の動向

個人消費はサービス支出を中心に弱い動きとなっている。

### (1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

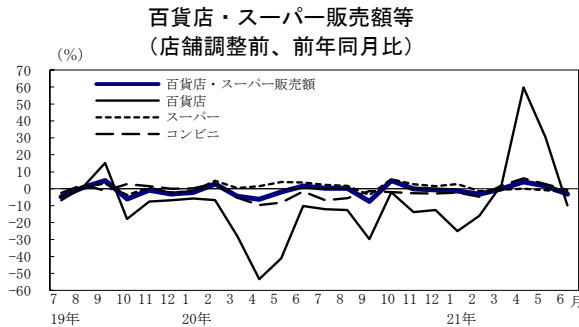
4－6月期は前期比2.4%増となった。月別にみると、4月は前月比1.4%増、5月は同0.5%減、6月は同2.6%増となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、4－6月期は前年同期比0.7%増（前々年同期比1.4%減）となった。月別にみると、4月は前年同月比4.1%増、5月は同1.6%増、6月は同3.2%減となった。

百貨店は、4－6月期は前年同期比18.3%減となった。

スーパーは、4－6月期は同1.1%減となった。



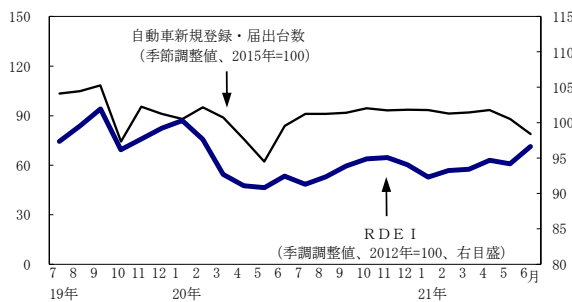
	2021年4-6月	2021年4月	5月	6月
RDEI（消費*1）	2.4	1.4	▲0.5	2.6
百貨店・スーパー(*2)	0.7	4.1	1.6	▲3.2
百貨店(*2)	▲18.3	59.7	30.3	▲9.9
スーパー(*2)	▲1.1	▲0.1	▲0.9	▲2.2
コンビニ(*2)	2.6	6.1	2.8	▲0.7
乗用車(*3)	15.1	22.1	41.4	▲6.3
(季節調整値)(*3)	▲6.0	▲1.4	▲5.8	▲10.3

(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

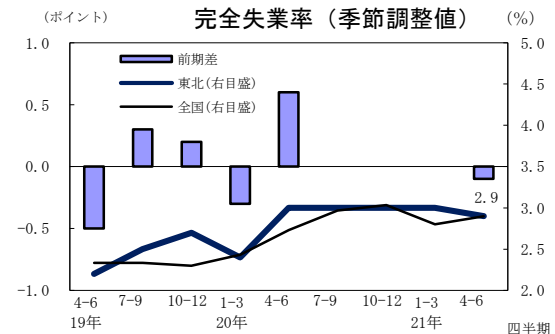
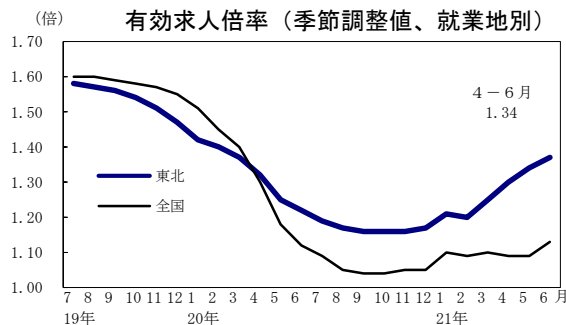
### RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和3年7月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	□	・一部の車両と部品の供給が間に合わず納期に影響は出たが、受注台数は例年どおりで推移している（乗用車販売店）。
		○	・依然新型コロナウイルスの影響が大きいものの、イベントを実施したオリンピック4連休が好天に恵まれて、前年を上回り、単月ながらコロナ禍以前のレベルとなった（遊園地）。
		▲	・受注生産なので、受注量の減少により販売量も減少している（住関連専門店）。
	企業 動向 関連	□	・引き続き、景気はコロナ禍の世界情勢の影響を大きく受けているが、ここ数か月は大きな動きがなく、混とんとしている状況である（電気機械器具製造業）。
		○	・観光需要についてはほとんど変わらないが、近隣でイベント等の開催がある日はある程度は集客ができています。また、ギフトシーズンということもあり、産地直送の発送も伸びている（食料品製造業）。
雇用 関連	□	・新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が相次ぎ、広告の動きが鈍くなっている（新聞社 [求人広告]）。	
	○	・求人数の増加が採用者数の増加にもつながってきている。企業側の採用活動も積極的になってきている（人材派遣会社）。	
その他の特徴 コメント			□：ワクチン接種が進み、来客数の増加を期待したが、感染者数が増えているのでそこまで来客数が増えてこない印象を受ける（観光型ホテル）。 ▲：新型コロナウイルス感染者数の微増が続いたほか、高温や悪天候が重なった影響か、外出を控える傾向が強くなった。一時期高まった購買意欲も鈍化している（百貨店）。
先行き	家計 動向 関連	□	・ワクチン効果が出始める期待感はあるものの、東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大の見方もあり、何ともいえない（通信会社）。
		▲	・ワクチンの接種が全体的に遅れ、変異株等により新型コロナウイルス感染者数が県内でも増加傾向にある。景気回復には時間を要する（商店街）。
	企業 動向 関連	□	・現状では想定される変動要因で大きなものは見込めない状況である（建設業）。
		○	・建設関係の業績が少し悪くなっているので心配なところはあるが、ワクチン接種が進めばサービス業、小売、飲食関係の需要が回復し、全体として景気回復が進むとみている（公認会計士）。
	雇用 関連	□	・東京オリンピックが行われることで、人の動きや経済の動きが多少ある。しかし、9月以降は、新型コロナウイルスへの対応や企業の動きによっては採用や増員の考えが少なくなる可能性もあるので、大きな変化は見込めないと考えている（人材派遣会社）。
その他の特徴 コメント			○：ワクチン接種が高齢者を中心に完了し、若者の接種も始まっている。それにより客の購買意欲も増してくるとみられる。今のところマスクをした状態で買物していただくといった環境は変わらないが、今後、客の楽観的な購買意欲が増してくると思われる（家電量販店）。 ▲：公共事業や民間投資の減少により、しばらくは減少傾向が続く見通しである（窯業・土石製品製造業）。

(D I) 現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

